

# 集落支援だより No.1

平成 30 年 3 月 1 日 発行

編集・発行：地域おこし協力隊 集落支援担当 小林（企画情報課）

TEL：49-2001（奥川支所）

こんにちは！地域おこし協力隊の小林拓也です。

集落支援担当として、役場奥川支所を拠点に活動しています。

町では平成 23 年度より高齢化率の高い集落が多い奥川地区に集落支援員を配置しており、現在、集落支援員 1 名、集落支援担当の地域おこし協力隊 1 名の 2 名体制で、町内の各集落を回りながら集落活動の支援を行っています。

第 1 号では普段の仕事の内容と来年度に向けた目標を簡単にご紹介いたします！



## 各集落への訪問と話し合い

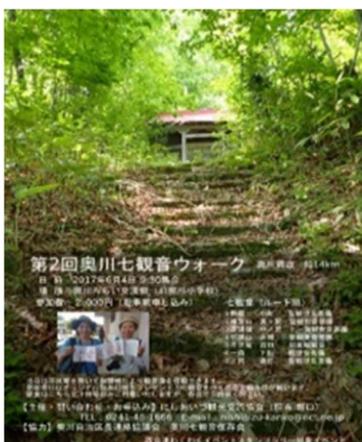
高齢化が進んできている集落を対象に訪問し、状況把握のための聞き取りや見守り活動、集落での困りごとへの対応などを行っています。この他、役場に出す書類を預かったり、住民のみなさんの要望を役場に取り次いだり、簡単な事務手続きのお手伝いをするなど、集落と行政のつなぎ役をしています。町内でも特に高齢化率の高い荒木・弥生・弥平四郎・大舟沢の 4 集落を重点的な支援の対象としており、月に 2、3 度ほど訪問しています。

今年度は尾野本、群岡地区の集落に対しても、集落支援の活動内容についての説明と状況の聞き取りを行いました。

## 地域における行事の支援

集落で行われている行事・祭礼の支援などもしています。小屋集落のかたくり鑑賞会や極入集落の大聖歓喜天祭礼など、集落の資源を活かした行事が各集落で開催されるようになってきました。集落の皆さんが行事の運営をされており、私たちは机やイスなど備品の運び出しや、補助金を受ける場合は申請の手続きなどの事務作業などをお手伝いしています。

また、地区で行われる盆踊りやゲートボール、カローリングなどの行事にも参加しています。



その他、町内では地域の特性を活かしたイベントが数多く開催されています。多くの集落に古くからの寺社仏閣、観音堂等が残されており、また、越後街道・越後裏街道や戊辰戦争時の痕跡など、文化的な史跡も残っていて、それらを活かしたイベント作りがされています。

その中でも、奥川地区で開催される奥川七観音ウォークや花立街道ウォークといったイベントの運営に携わっています。

（裏面へ続く）

## 集落機能維持のための仕組みづくり

地域の方とお話していると、高齢化・人手不足が進んでいることで、集落での共同作業(人足)ができなくなってきているという話を多くの方から伺いました。そこで、集落の負担を少しでも軽くできるよう、町外から人足を手伝いに来てくれる人を募集する仕組みを作ろうとしています。

町外の人に人足を手伝ってもらうための試験的な取り組みとして、11月18・19日に人足を組み込んだ農村体験ツアーを企画しました。福島大学の学生を対象に募集をかけたところ4人の応募があり、実際の人足作業に参加してもらいました。

手伝ってもらった作業は堰の落ち葉上げでした。参加してくれた学生たちは、作業は大変だったと言いつつも、自分たちが落ち葉を上げたあと水が流れていった時の達成感は普段の生活ではなかなか経験できないものだったと話してくれました。

人足作業のほかに、家の雪囲いの設置なども体験してもらいました。



↑ 人足作業の様子



↑ 学生たちが雪囲いをしている様子

### 〈来年度に向けて〉

人足や雪囲いなどは西会津町での暮らしの中ではあたり前のこととなっていますが、今回参加してくれた学生たちのような町外の人にとっては、体験したことのない、新鮮で楽しい遊びにもなりうるということが確認できました。

また、そうした作業を通して住民と触れ合いながら過ごす時間は、地域の中に入って活動したいと考える学生などにとってはとても魅力的なものです。

地域のありのままの姿に町外の人が触れられる機会はそう多くありません。しかし、季節ごとにあたり前に行われている人足に参加してもらうことで、そうした機会を作れると思ったと同時に、そうした機会に対する需要は決して少なくないと思います。

来年度はこうした活動をしてみたい町外の人たちに向けて、どう情報発信し、どう手助けを必要としている集落とつないでいくかを探っていきたいと思います。また、いくつかの集落で実際に活動をさせてもらい、それを踏まえて、来年度以降に向けた体制づくりをしていきます。



↑ みんなで柿をもいで食べたり、人足作業の途中には天然のナメコを探ったり、自然を楽しみながら過ごしてもらえました。